





# 全日本都道府県対抗剣道優勝大会を観戦して

執筆／愛媛県剣道連盟 事務局長 馬越洋治

この大会は、先鋒は高校生、次鋒は大学生、5将より職業・段位・年齢別に選出された7名の選手による、まさに各都道府県の総合力を競う大会である。

愛媛県チームは、監督、遠藤寛弘（愛媛県警察）先鋒、菅 龍太朗（帝京第五高校）次鋒、村上哲彦（松山大学）5将、白石大輔（松山刑務所）中堅、菅 太樹（教員）3将、野本一八（愛媛県警察）副将、佐伯義徳（自営業）大将、濱田豊彦（愛媛県警察）という最強チームで臨んだ。



会場全体が注目した 愛媛 対 熊本

チーム結成以来、遠藤監督の指令により、それぞれの選手がえひめ国体を意識した稽古に励み、万全の体勢で大会に臨んでいるように見えました。会場入りした選手団には緊張した様子はなく、他県の選手と談笑しながら全国大会の雰囲気を楽しんでいました。

試合がはじまると雰囲気は一転、各試合場では郷土の名譽を懸けた熱戦が繰り広げられ、高校生、大学生、社会人とそれぞれの剣道の魅力を楽しむことができました。



攻めの剣道に徹した次鋒 村上選手

愛媛県の1回戦は3対1で福井県、2回戦は2対0で鳥取県を撃破し、いよいよベスト8を懸けてチーム全員が九州学院高校出身という熊本県との対戦になった。遠藤監督もここが勝負所と予想しており、チーム愛媛に緊迫感がみなぎり最高の舞台が出来上がった。

先鋒 菅は、スピード感溢れる戦いぶりで、超高校級の山田選手を攻め続け、互角の戦いぶりを見せたが、一瞬、居付いたところを打たれ、一本負け。

次鋒 村上は、抜群の身体能力と鋭い感性で、低い位置から飛び込み面を連発し、見事な面を決め、一本勝ち。

続く5将 白石も村上に続けと元気のいい試合を展開、つばぜり合いから一瞬の隙を突き、引き小手を放った。会場全体に響き渡る音を立て、審判の旗が一斉に3本上がり、一本勝ち。

中堅 菅は、先程の試合で見事な諸手突きを決め、気をよくしている様子だ。だが、熊本のメ（しめ）選手もお見事。激しい攻防の末、一瞬先（せん）を取られ一本負け。

3将 野本は世界大会の候補にも上がっている愛媛のポイントゲッターだ。ここで何としても有利に立ちたいところであるが、相手の西村選手の豪快な剣道には一本一本に会場がどよめき、さすがの野本も一本負け。

副将 佐伯は、応じ技や返し技を巧みに使う頭脳派の剣道だ。ここまで、技が功を奏し、いぶし銀の戦いぶりであった。ここでも何とか踏ん張り、大将に望みをつないだ。



2本勝ちして代表戦に大将 濱田選手

いよいよ大将戦、濱田が2本勝ちして代表戦という絶体絶命のピンチ。ここで大将 濱田がミラクルを起こした。相手にじりじりと間合いをつめ、見事な小手を放ち、一本を先取。そして一瞬、相手が止まった所に無心の面を決め、3対3の引き分け同本数という代表戦に持ち込んだ。場内がざわめくまま、大将の一本勝負にかたずをのんだが、最後は面を決められ、戦いは終わった。

その後、熊本は圧倒的な実力を見せつけ優勝し、大会は幕を閉じた。

試合を振り返り、愛媛県選手団の活躍は、すばらしい戦いぶりであり、えひめ国体に向け、明るいきざしが見えてきました。特に、大将 濱田が2本勝ちして代表戦に持ち込み、会場全体がどよめいた空間が印象的でした。



大将 濱田選手が優秀選手に選ばれる



# 平成26年度全国中学校体育大会・第45回全国中学校柔道大会開催に向けて

執筆／愛媛県中学校体育連盟柔道専門部長 梶谷 宗範

平成26年8月22日(金)～25日(月)の4日間、愛媛県武道館において「平成26年度全国中学校体育大会・第45回全国中学校柔道大会」が開催されます。愛媛県での開催は、平成9年に今治市で開催されて以来19年ぶりとなります。前回大会では本県選手が活躍し、大会を大いに盛り上げてくれました。主な戦績は、男子個人戦において、55kg級・山内洋平選手(愛光中)3位、78kg級・仲田直樹選手(港南中)優勝、78kg超級・清家仁宏選手(津島中)準優勝、女子個人戦では、56kg超級・森実友紀選手(川之江北中)3位でした。

今回は地元での全国大会ということで、愛媛県からは団体戦は男女とも2校、個人戦でも各階級2名の出場が認められています。今大会も本県選手の活躍を大いに期待しております。男子団体戦では、県新人大会優勝の松山市立西中学校の活躍に期待しております。2年前の大会(於：神奈川)で3位に入賞しており、全国大会出場の常連



松山市立西中学校 男子

校に名を連ねている伝統校です。各選手に安定感があり、全選手がポイントゲッターになる力を持っています。とりわけ白石隼人・影浦力・井上昌也の重量級3選手の活躍に注目が集まります。また県新人大会準優勝の伊予市立港南中学校も有力視されています。全体的に小柄ですが、豊富な練習量とチームワークで上位進出を目指してもら



伊予市立港南中学校 男子



宇和島市立城北中学校 女子

いたいと思います。女子団体戦では、宇和島市立城北中学校(県新人大会優勝)と伊予市立港南中学校(県新人大会準優勝)の活躍に期待がかかります。城北中学校は2年前の代表校で、2年連続四国総体で3位入賞を果たし、全国大会でも十分に通用する力



伊予市立港南中学校 女子

を持っています。ポイントゲッターの鳥井万衣花選手やパワー溢れる大嘉田みなみ選手の活躍が楽しみです。港南中学校は、レギュラー3人に穴がなく、失点の少ないのが特徴です。抜群のスタミナで上位進出が期待できます。

## 柔道ルネッサンス宣言 2010

1. 指導者自らが襟を正し、「己を完成し、世を補益する」ことを実践します。
1. 理にかなった技の習得、「一本」をとる柔道を目指します。
1. 老若男女が親しめる、安全に配慮した柔道の普及・発展に努めます。
1. 美しい礼、正しいマナーで、品格のある柔道人になり、育てます。

平成22年5月15日  
柔道ルネッサンス・フォーラム採択

柔道ルネッサンス特別委員会





# えひめ国体に向けた少年男子の取組 ～東温高校銃剣道部～

執筆／愛媛県銃剣道連盟 理事 東温高等学校 銃剣道部 顧問 丹下 隆之

これまで愛媛県における銃剣道の活動は、自衛隊松山駐屯地体育館を中心に東温市トレーニングセンターも利用し、活動をしてきました。

平成24年度に、愛媛県立東温高等学校に銃剣道部が発足したことにより、えひめ国体に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。創部当初は部員も少なく、苦勞することもありましたが、今では3年生3名、2年生6名、1年生8名の計17名となり、道場は部員たちの活気であふれ、充実した活動が実施できています。これも愛媛県の銃剣道を支えてくださっている皆様のおかげと大変感謝しております。



東温高校銃剣道部員

## 【主な大会結果】

- 第25回全国高校生銃剣道大会  
男子団体 5位(白石・岡村・福井)  
女子個人の部 5位 村上あかね
- 第13回九州青少年銃剣道大会  
団体戦・高校生の部 準優勝(白石・岡村・福井)
- 第42回中国・四国地区銃(短)剣道選手権大会  
団体 少年の部 3位(白石・岡村・福井)  
個人 少年の部 準優勝 白石尚也



試合風景

今年度の新入生で東温高校銃剣道部第5期生となり、東温高校銃剣道部の歴史も深まりつつあります。卒業生が自衛官として活躍していたり、帰省の際や仕事の合間をぬって道場に足を運んでくれたりしています。こうした卒業生のおかげで、愛媛県の銃剣道の新たな伝統が築き上げられていると感謝しています。そして、愛媛県で銃剣道を学んだ卒業生たちが、今後指導者として愛媛県の銃剣道を更に盛り上げていってくれることを願っています。

白石旻史先生の遺志を受け継ぎ、悲願の国体四国ブロック予選突破・全国大会優勝を目指し、えひめ国体に向けて顧問・部員一同一丸となって邁進してまいりたいと思います。

## 【今後行われる主な大会・イベント】

- ・平成26年5月17～18日 新潟遠征
- ・平成26年6月22日  
国民体育大会愛媛県予選会
- ・平成26年7月6日  
第14回九州青少年銃剣道大会
- ・平成26年7月19～21日  
愛媛県(松山市)青少年銃剣道錬成大会
- ・平成26年7月27日  
第26回全国高校生銃剣道大会
- ・平成26年8月9日  
国民体育大会四国ブロック大会



大会会場に掲げられた第1期生寄贈の部旗

高校や中学から銃剣道を始めた選手が全国で活躍しています。今年度も武道体験フェスタをはじめ、様々な体験教室に参加・開催していく予定です。また、毎週土曜日には愛媛県銃剣道連盟が松山駐屯地体育館で午前9時～12時まで活動をしています。興味のある方、新しい種目にチャレンジしてみたい方は是非一度見学に来てください。



木銃

○武道館では様々な事業を実施しております!詳しくは、ホームページまたは武道館までお問い合わせください。

## 愛媛県武道館ホームページ



モバイル用



パソコン用

